

# 高等学校における道徳教育の充実に向けて

## ～学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育～

山口県教育委員会 平成28年4月

道徳教育は、豊かな心を持ち、人間としての在り方生き方の自覚を促し、道徳性を育成することをねらいとする教育活動であり、社会の変化に主体的に対応して生きていくことができる人間を育成する上で重要な役割をもっています。

このため、学習指導要領においても道徳教育の重要性が改めて強調されていますが、高等学校においては、小・中学校と異なり、道徳の時間が設けられていないこともあり、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を推進することが必要になってきます。

このリーフレットでは、これまでの「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト推進校の取組と中学校「特別の教科 道徳」の内容項目も掲載しています。これらを参考に、各学校においては全体計画や年間指導計画を見直し、教育活動全体を通じて道徳教育に積極的に取り組んでいただきますようお願いします。

### 学校の教育活動全体を通じて道徳教育を推進する3つのポイント

#### 1 道徳教育の重点目標を、教職員全員で共有しましょう。

- 学校の教育目標や育てたい生徒像から、道徳教育の重点目標を明確にしましょう。
- 各教科、分掌等が連携し、重点目標を意識した道徳教育の全体計画、年間指導計画を作成しましょう。
- 道徳教育の重点目標を意識した教育活動を、組織的・計画的に実践しましょう。

#### 2 今までの教育活動を、道徳教育の観点から見直してみましょう。

- 日常の様々な教育活動の場面で、人間としての在り方生き方に関する教育を意識的・意図的に実施しましょう。
- 中学校の道徳の内容項目等を参考に、各教育活動で、どのような道徳性を養うことができるか考えてみましょう。
- 各教科・科目の目標や内容と道徳教育との関連を意識しましょう。

#### 3 体験活動の機会を活用しましょう。

- 振り返りの場を充実させ、自己の生き方への自覚を深められるようにしましょう。
- 生徒同士の意見交換や、異年齢集団との交流など、多様な考えを知ることができる機会をつくりましょう。
- インターンシップやボランティア活動等を通じて地域社会との連携に取り組みましょう。

## 実践事例① 山口県立徳山商工高等学校

(「やまぐちっ子の心を育む道德教育」プロジェクト 平成25・26年度推進校)

### 1 道德教育の目標

- ・ 基本的生活習慣を確立し、将来の社会人として必要な礼儀・マナーを身に付ける。
- ・ 生命や人権を尊重し、義務と責任を重んずる態度を養う。
- ・ 感謝と思いやりの心をもって社会に貢献する実践力を高める。

### 2 特色ある取組の内容

#### (1) よりよい人間関係づくり

- ・ ミックスホームルーム  
1年次において、5学科混成のホームルームを編制し、多様な人間関係づくりを促す。
- ・ AFPYによる人間関係づくり教室  
入学当初に担任をファシリテーターとしてAFPYを実施し、新しい人間関係づくりの一助とする。
- ・ スクールカウンセラーによる講義  
コミュニケーションで大切なことについて、専門家の視点からの講義を受ける。



(AFPYによる人間関係づくり教室)

#### (2) 異年齢集団とのかかわり

- ・ 生徒による中学校での出前授業  
生徒が各学科で学んだ専門的な学習内容を中学生に教えることにより、理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を育む。



(生徒による中学校での出前授業)

#### (3) アンケート調査の実施

- ・ 中学校道徳教育の内容24項目に関するアンケート  
生徒に中学校学習指導要領における道徳教育の内容24項目に関するアンケートを実施し、教育活動を進める上での参考とする。
- ・ Fit生活アンケート  
学期ごとに実施し、生徒の人間関係や学校生活についての「適応感」の変化を把握して指導に生かす。

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ・ AFPYによる人間関係づくりは、入学当初に生徒が新しい人間関係を築いていく上で十分な成果があったほか、教員が生徒の様々な面を知ることにより、その後の学級経営の参考になった。
- ・ 生徒による中学校への出前授業は、授業を実施した生徒の充実感が大きく、自己肯定感を高める上で効果があった。
- ・ 道徳教育の内容24項目に関するアンケートは、本校生徒の全体的な傾向を把握する上で有効であり、道徳教育をはじめとする教育活動の計画を立てる上で参考になった。
- ・ Fit生活アンケートは、生徒個々の適応感の変化を知ることによって、個別指導や学級経営の参考になった。

#### (2) 課題

- ・ アンケート調査等により、生徒の状況の把握が可能となったことから、その結果から見てきた地域への愛着や愛校心の更なる醸成等の課題に対応した道徳教育を学校全体で取り組むために、教員全体への意識付けを一層図っていく必要がある。

## 実践事例② 山口県立西市高等学校

(「やまぐちっ子の心を育む道德教育」プロジェクト 平成26・27年度推進校)

### 1 道德教育の目標

- 基本的な生活習慣を身に付ける。
- 高い目標に向かって自主的に取り組む自律の精神と粘り強く努力する強い意志を養う。
- 相手の立場や人格を尊重する思いやりの心を育て、感謝の気持ちを大切にできる心情を養う。
- 礼儀の大切さを心得て、時と場所に合った適切な言動をとる力を養う。
- 校則をはじめ様々な規則を遵守する態度を身に付ける。

### 2 特色ある取組の内容

#### (1) クラスごとのビーイングを活用した取組

- クラスの目標達成のために自分が「何をすべきか」・「何を我慢すべきか」をビーイングの用紙に記入させ、教室に掲示する。
- 自分の目標の達成状況を振り返り、終礼で発表する。

#### (2) 「思いやりを見つけ出すノート」を活用した取組

- 体験活動後、「思いやりを見つけ出すノート」を書くことで振り返りを行い、体験活動を「思いやり」の視点で振り返る。

#### (3) グループ学習を活用した取組

- グループで「思いやりを見つけ出すノート」を回し読みし、感じたことや考えたことを共有する。
- 与えられたテーマに沿って、グループの考えを「幸せになる法則」にまとめる。



(文化祭での活動を振り返るグループ学習)

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- Fit生活アンケートの結果を、前年度に実施したアンケート結果と比較すると、「環境適応感」「対人適応感」とも大きく向上した。本校の道德教育の3つの柱である、「クラス単位のビーイング」「思いやりを見つけ出すノート」「グループ学習」により、クラスメイトの本心や知らなかった一面について互いに理解が進み、クラスに対する安心感が高まったことが、その要因であると考えられる。
- 「やまぐちっ子の心を育む道德教育」プロジェクト推進校に指定されたことにより、全教員の意識が高まり、道德教育推進委員会が機能し始めるなど、全校の協力体制が確立した。

#### (2) 課題

- 今後、道德教育の取組をさらに推進していくためには、道德教育の重要性を生徒及び教員が実感する必要がある。そのためにも、道德教育推進委員会を中心にこれまでの取組を検証し、常に活動を深化させていく必要がある。

(参考資料) 中学校「特別の教科 道徳」内容項目

～中学校学習指導要領

〔平成 27 年 3 月 一部改正  
平成 31 年 4 月から施行〕～

〔平成 27 年度から平成 30 年度において、全部または一部について、改正後の各規定によることができる。〕

## A 主として自分自身に関すること

[自主, 自律, 自由と責任]

自律の精神を重んじ, 自主的に考え, 判断し, 誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

[節度, 節制]

望ましい生活習慣を身に付け, 心身の健康の増進を図り, 節度を守り節制に心掛け, 安全で調和のある生活をする。

[向上心, 個性の伸長]

自己を見つめ, 自己の向上を図るとともに, 個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。

[希望と勇気, 克己と強い意志]

より高い目標を設定し, その達成を目指し, 希望と勇気を持ち, 困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。

[真理の探究, 創造]

真実を大切に, 真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。

## B 主として人との関わりに関すること

[思いやり, 感謝]

思いやりの心をもって人と接するとともに, 家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し, 進んでそれに応え, 人間愛の精神を深めること。

[礼儀]

礼儀の意義を理解し, 時と場に応じた適切な言動をとること。

[友情, 信頼]

友情の尊さを理解して心から信頼できる友達を持ち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

[相互理解, 寛容]

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があることを理解し, 寛容の心をもって謙虚に他に学び, 自らを高めていくこと。

## C 主として集団や社会との関わりに関すること

[遵法精神, 公德心]

法やきまりの意義を理解し, それらを進んで守るとともに, そのよりよい在り方について考え, 自他の権利を大切に, 義務を果たして, 規律ある安定した社会の実現に努めること。

[公正，公平，社会正義]

正義と公正さを重んじ，誰に対しても公平に接し，差別や偏見のない社会の実現に努めること。

[社会参画，公共の精神]

社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め，公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。

[勤労]

勤労の尊さや意義を理解し，将来の生き方について考えを深め，勤労を通じて社会に貢献すること。

[家族愛，家庭生活の充実]

父母，祖父母を敬愛し，家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。

[よりよい学校生活，集団生活の充実]

教師や学校の人々を敬愛し，学級や学校の一員としての自覚をもち，協力し合ってよりよい校風をつくるとともに，様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。

[郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度]

郷土の伝統と文化を大切にし，社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め，地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し，進んで郷土の発展に努めること。

[我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度]

優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに，日本人としての自覚をもって国を愛し，国家及び社会の形成者として，その発展に努めること。

[国際理解，国際貢献]

世界の中の日本人としての自覚をもち，他国を尊重し，国際的視野に立って，世界の平和と人類の発展に寄与すること。

**D 主として生命や自然，崇高なものとの関わりに関すること**

[生命の尊さ]

生命の尊さについて，その連続性や有限性なども含めて理解し，かけがえのない生命を尊重すること。

[自然愛護]

自然の崇高さを知り，自然環境を大切にすることの意義を理解し，進んで自然の愛護に努めること。

[感動，畏敬の念]

美しいものや気高いものに感動する心をもち，人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。

[よりよく生きる喜び]

人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し，人間として生きることの喜びを見いだすこと。